



NO. 940

2013・10・13

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四四三・四四五八
F 四三・四四五七

飯田議員の一般質問から

一項目は、網走厚生病院の人工透析医師の不在解消について質問しました。

二項目、大曲パークゴルフ場の芝維持対策について

四項目、消防広域化の延長への対応について

飯田議員「昨年末より担当医が不在で診療体制は出張医に頼っている。現在の診療体制ではシヤント処理などリスクが大きいく、不便が生じている。

常駐医確保と不在時の体制確保に向け、他の自治体と連携し強力な働きかけをすべきではないか。

飯田議員「高齢者の健康増進に貢献している大曲パークゴルフ場の芝生が干ばつにより枯れており、降雨があつた後も回復していない。

現状をしっかりと把握し、枯れない対策をするべきではないか。

建設部長「今後、自然回復による経過を観察し、委託業者の意見も聞きながら、回復に向けた対策を検討、実施する。干ばつ等の異常気象時の対応について、他の芝生広場、パークゴルフ場の管理状況も参考に枯らさない管理方法に取り組んでまいりたい。

市民部長「厚生病院は人工透析専門医の募集をはじめ医師確保について全力を注いでいると認識している。しかし、常勤医がいけない診療体制は、地域の救急体制の危惧もあり深く受け止めている。

地域医療の存続のため周辺自治体と、どのような働きかけがいののか、医療機関などと協議を重ねたい。

三項目、干ばつ対策における畑総事業の効果について

飯田議員「7月の降雨不足で農作物への影響は多大だった。しかし、卯原内ダムや緑ダムを水源とする畑総事業で完成した水利施設をこのような時に本格的に稼働し活用すべきではないか。

経済部長「灌水は干ばつの影響を少しでも軽減するため行っており、生育の遅れも一部取り戻してきている。降雨に比べ、リールマシンを使った畑地一帯への灌

水は時間もかかることから困難である。

飯田議員「広域化は、目標の期日を過ぎてても進展なく、事実上破綻していると言わざるを得ない。広いオホーツク地域を北見市に消防本部をおく広域化はなじまない。

消防管理者である市長は現行消防体制を守るべきではないか。

水谷市長「消防の広域化は、北網圏域内のコンセンサスや自賄いの解消など課題も多く、管内における広域化の機運にはいたっていない。

網走市としては、今後の動向に注視する必要があるが、現状はまず、住民の安心・安全を最優先に、現在の消防・防災体制の充実強化に努めた



松浦議員の一般質問

消費税増税反対の声を上げよう！



一項目、消費税増税問題では、矛盾点・逆進性について、基本的な考え方について求めまたの対し、答弁では、消費税は広く負担を求めることから

公平な税とも言われるが、一方で、逆進性の高い税とも言われている。国も低所得者対策を検討しているようだと答えた。

次に、消費税を転嫁できない事業者の実態について質問し、網走商工会議所の調査では対象300社からアンケートをとる、回答が190社からあり、全て転嫁できるが31.6%、分らない22.1%、8%でも転嫁できない21.6%、転嫁できない15.3%となっていると答弁。つまり36.9%の事業者は転嫁できないと答えて、分からないと答えた事業者のなかからも転嫁できない状況が考えられることから、消費税の引き上げは網走の中小企業にとつても深刻な事態が起きると予想されます。

また、輸出戻し税の問題では、トヨタは1695億円も還付されるなど輸出大企業は平成24年度だけで2兆5000億円も還付されている事実を示し、今やるべきは増税ではなく輸出戻し税をやめて輸出非課税にすれば、消費税2%分の2兆5000億円を還付しなくてすむ方法を取るべきだと強調しました。

氷

「堺市長選での「竹山氏の大勝利」は暗いニュースの多かつた近頃、素晴らしい快挙となりました。それは大阪の首長選では負け知らずの「橋下維新」の「大阪都構想」のでたらめさが、有権者の多くに見破られ、背を向けられることになっただけではなく、中央政界にもおおきな影響を及ぼすことになったからです▼不利を克服して何故竹山氏が勝利できたのか。それにはおおきな理由があります。「堺は一つ」の合言葉のもとに長い歴史と伝統を持つ堺の一般市民はもちろん、政党、党派を問わず結集して選挙戦を戦ったことが要因です。統一し民衆の利益となる点の一つでもあれば、その一点で統一を組むという大局的な政治統合の運動はまさに新しい市民運動の始まりであり、その成功例であるといえましょう。▼追い詰められた維新陣営は反共攻撃で市民の分断を図りましたが、まったく効き目はありませんでした。竹山氏は「この選挙は堺市民と大阪維新の会との戦いであつた」と語り「自由と自治の堺市を守れたことは堺市民の勝利であり、市民の熱い思いをしっかりと受け止め、市民のための施策を実行していく」と決意を述べました。これからの堺市の将来に期待が持てます。(K)

